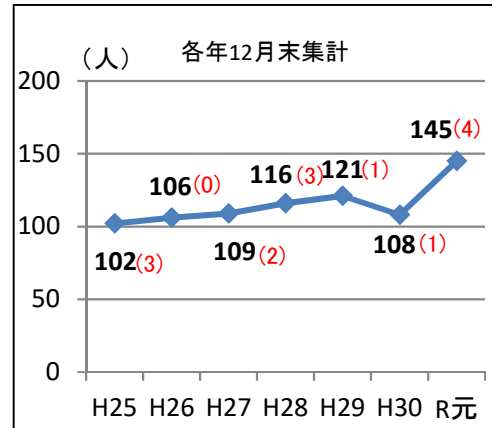


埼玉県内の廃棄物処理業での労働災害発生状況

(令和元年12月末集計)

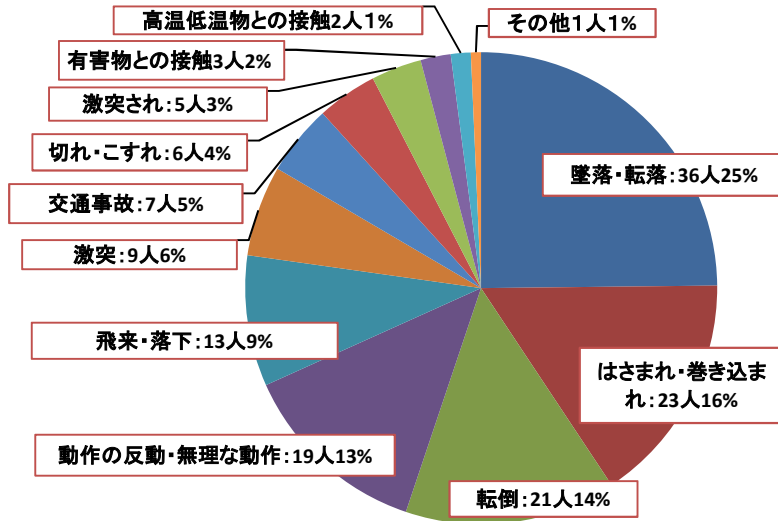
廃棄物処理業での機械設備等や不安全行動に起因する災害等の防止対策を進めましょう！

- 1 令和元年発生の埼玉県内の廃棄物処理業での死亡者数は**4人**で対前年同期比**4倍に増加(1人→4人)**、休業4日以上^の死傷者数は**145人**で対前年同期比**37人(34.3%)増加**。
- 2 安全衛生管理体制を確立しましょう！
- 3 リスクアセスメントを実施しましょう！
- 4 4S(整理・整頓・清掃・清潔)活動で転倒災害を防ぎましょう！
「STOP! 転倒災害プロジェクト」* 労働局HP参照
- 5 腰痛予防対策を進めましょう！



※()内は死亡者数

廃棄物処理業での事故の型別 労働災害発生状況(休業4日以上)



まずは、職場内で情報共有
転倒危険場所を見える化しましょう！

転倒の危険を感じた場所の情報収集し、労働者への共有を図ることが大切です。危険場所に下のステッカーの掲示を行うなど、転倒の危険を見える化しましょう！

※下のステッカーは、「STOP! 転倒災害プロジェクト」のホームページからダウンロードできます。



事故の型別では、①収集車の荷台などからの「墜落・転落」、②コンベア作業などでの「はさまれ・巻き込まれ」、③ヤード内などでの「転倒」、④収集作業中の重量物取り扱いによる腰痛などの「動作の反動・無理な動作」、が全体の3分の2以上を占めます。また、「転倒」の半数以上が骨折等の重傷となっています。

【災害事例】

【墜落・転落】

- ①トラックの荷台に設けてある梯子を下りる際に足を滑らせ墜落した。
- ②車両を洗浄するため泥水ピット前にて洗浄機を使用し荷台を洗浄していたところ足を滑らし、泥水ピット内に荷台上から墜落した。



【はさまれ、巻き込まれ】

- ①ゴミ収集車のゴミ投入口の回転板に身体をはさまれた。
- ②処理場でペットボトルの選別作業中、ベルトコンベアの駆動ローラーとベルトに詰まったペットボトルを取ろうとして腕を巻き込まれた。



墜落・転落災害防止対策

- 1 高所やピット等で墜落・転落の恐れがある箇所には、墜落防止用の囲い、手すり、覆い等を設
- 2 けまらあり・コンテナ等にシート掛け・シート外しを行う際は、安全な作業床を設置するか、設けることが困難な場合には、親綱を設置し安全帯及び保護帽を使用しましょう。
- 3 はしごを使用する時は、上部と脚部に転移防止措置を講じましょう。また、昇降時には親綱又は安全ブロックを使用し安全帯の使用に努めましょう。* 脚立は足と脚立の接点を3点支持で使用しましょう。



はさまれ・巻き込まれ災害防止対策

- 1 機械に身体が入らないよう囲い、覆い等を設け、安全装置については有効に機能するよう保持しましょう。
- 2 点検、修理、掃除、調整等を行う場合には、機械を停止し、施錠・表示板等により不用意に他の者が作動させることを防止する措置を講じましょう。
- 3 使用する機械に応じて危険予知訓練及び安全衛生教育を実施・徹底しましょう。



転倒災害防止対策

- 1 4S（整理・整頓・清潔・清掃）活動を徹底しましょう。
- 2 床面・通路は、くぼみや段差がなく滑りにくい構造とし、水たまりや雪・氷は除去しましょう。
- 3 通路・階段・出入口に物を放置せず、また、階段には滑り止めや手すりを設けましょう。
- 4 履物は、滑りにくく安定したものを着用し走らないことを徹底しましょう。
- 5 冬場の降雪・凍結による転倒・交通事故を防止をしましょう。⇒スタッドレスタイヤの装着を。



腰痛予防対策

- 1 長時間における同一姿勢はとらないように、適度の柔軟体操を含めましょう。
- 2 不自然な作業姿勢を取らざるを得ない場合や反復作業を行う場合は、休憩・休止をはさんだり、他の作業と組み合わせることにより、できる限り連続しないようにしましょう。
- 3 重量物を取り扱う場合は、機械による自動化・省力化、腰痛予防ベルト・アシストスーツ等の活用により負担の軽減を行いましょう。
- 4 内容物が不明なものは、いきなり持ち上げるのではなく、徐々に持ち上げ、男性は体重のおおむね40%程度、女性は男性が取り扱う重量の60%程度までに努めましょう。



事業場では、墜落転落災害、はさまれ・巻き込まれ災害、転倒災害、腰痛災害の防止を4つの重点として、労働災害防止対策に取り組みましょう！



4つの重点

墜落・転落災害

はさまれ・巻き
込まれ災害

転倒災害

動作の反動・無理
な動作



埼玉県のマスコット「コバトン」